

東京大学 海外留学・国際交流プログラム報告書(超短期プログラム用)

2016 年 9月 22 日

東京大学での所属学部・研究科等:	工学系研究科	学年(プログラム開始時):	修士1
参加プログラム:	IARUサステイナブルキャンパス交換学生	派遣先大学:	オーストラリア国立大学
卒業・修了後の就職(希望)先:			
<input type="checkbox"/>	1. 研究職	<input type="checkbox"/>	2. 専門職(医師・法曹・会計士等)
<input checked="" type="checkbox"/>	3. 公務員	<input type="checkbox"/>	4. 非営利団体
<input checked="" type="checkbox"/>	5. 民間企業(業界:)	<input type="checkbox"/>	6. 起業
<input type="checkbox"/>	7. その他()		

派遣先大学の概要
キャンベラにある総合大学で、Facility and Serviceという部署のANUGreenでインターンシップを行った。
参加した動機
建築の省エネルギー化に関する研究を行っており、TSCP学生委員会として東京大学のサステナブル化の活動にもかかわっているため、海外の大学で同様の活動に関わることで、経験を共有し、学ぶことができると思ったから。
参加の準備
①プログラムの参加手続き(手続きにあたってのアドバイスなど)
採用通知からプログラム開始まで時間がないので、採用が決まったらすぐに手続きを始めたほうが良い。
②ビザの手続き(ビザの種類、申請先、手続きに要した時間、ビザ申請にあたってのアドバイスなど)
電子ビザでウェブサイト上ですぐに取得できる。
③医療関係の準備(出発前の健康診断、常備薬、予防接種等)
特になし
④保険関係の準備(加入した海外旅行傷害保険・留学保険等)
付帯海学に加入した。
⑤プログラム参加にあたって東京大学の所属学部・研究科(教育部)で行った手続きなど(履修・単位・試験・論文提出等に関して)
特になし

⑥語学関係の準備(出発前の語学レベル・語学学習等)
特になし
⑦日本から持参した方がよいもの、その他出発前にやっておくべきこと・アドバイスなど
8月のオーストラリアは冬で寒く乾燥していたので、マスクやハンドクリームを持って行ったほうが良い。また、手袋もあったほうが良い。
学習・研究について
①プログラムの概要(授業・予習・復習のスタイル、印象に残っている内容等)
ANUGreenで学生寮のGreen Competitionの計画を進めたり、複層窓に改修した建物の熱赤外線写真を撮影し分析するなどしてレポートにまとめた。
②学習・研究面でのアドバイス
職員の人はそれぞれ自分の仕事をしており細かい指示をもらえないので、積極的に聞いたほうが良い。
③語学面での苦勞・アドバイス等
専門用語がわからないことが多かった。また、喋るスピードが速くて聞き取るのが大変だった。
生活について
①宿泊先(種類(寮・ホームステイ・ルームシェア等)、家賃、宿舎の様子、見つけた方法など)
University Hotel という学内にある宿泊施設を、ANUGreenから支給された。学生寮ではないため、基本的に他の入居者との交流はない。
②生活環境(気候、大学周辺の様子、交通機関、食事、お金の管理方法(海外送金・クレジットカード)など)
気候:8月は真冬ではないが、朝晩や雨天時は結構寒い 大学周辺の様子:キャンベラの中心街のすぐ近くにあるので、周りには飲食店やスーパーがある。また、大学のすぐ裏に大きくてきれいな湖がある。 交通機関:自転車を支給されたので基本的には自転車で移動した。市内はバスもたくさん走っている。 食事:朝食はパンなどを食べ、昼食と夕食は飲食店で食べた。宿で電子レンジが使えなかったため、お弁当などはあまり食べなかった。 お金:基本的にどこでもクレジットカードが使える
③危機管理関係(留学先の治安、医療機関の事情、心身の健康管理で気をつけた点など)
治安は良かった。

④要した費用について(航空賃、授業料、教科書代、家賃、食費、交通費、娯楽費などの概算)
東京大学負担:航空券(17万円)、食費(93,000円) ANU負担:宿泊費 物価は東京とほとんど同じで、食事は量が多い分東京よりも少し高い程度
⑤奨学金(受給していた場合は、支給機関・支給額・見つけた方法など)
上記の通り
⑥学習・研究以外の活動(スポーツ・文化活動、ボランティア・インターン、週末や長期休暇の過ごし方など)
週末はシドニー観光に一度行った。他はキャンベラ内を観光した。
派遣先大学の環境について
①参加学生へのサポート体制(語学面・学習面・生活面・精神面でのサポート等)
自転車を貸し出してもらえたので、快適に生活できた。ANUGreenのスタッフも、現地の人も親切で優しかった。
②大学の設備(図書館・スポーツ施設・食堂・PC環境等)
特に使わなかった。Union Courtというところには、比較的安い食堂がある。
プログラムを振り返って
①プログラムの意義、参加を通じて成長したこと、その他留学を通じての所感
ANUではキャンパスのサステナブル化として、設備の更新等に加えてキャンパスの景観の改善や学生の参加が重要視されていることが分かった。短い期間で何をするか考えてまとめるところまでやったのでかなり頭を使ったと思う。最終日のプレゼンではやったことに対してコメントをもらえてよかった。
②参加後の予定
自分の研究とTSCP学生委員会での活動を進める。
③今後参加を考えている学生へのメッセージ・アドバイス
東京大学の活動、学生の活動、自分の活動等について日ごろから考えていると、現地で比較ができて学べると思う。
その他
①準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト・出版物

②その他東京大学のホームページ・出版物等に掲載してよい留学中の写真があれば添付してください。



Lake Burley Griffin



オフィスの外観

